

単元名 **サミングや息のコントロールを身に付けて表現を工夫しよう** 配当時間 **2時間**

単元の目標 (1) 曲想と音楽の関わりを理解するとともに、創意工夫を生かした表現をするための息のコントロールやサミングなどの技能を身に付けることができる。
 (2) 曲想と音楽の構造との関わり方を理解し、演奏技能を使って、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫することができる。
 (3) 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。

標準的な展開例

11260102_001

【教材名】 サムのひとりごと ◆誰も知らない私の悩み ◆レヴェル・プレイン ◆カノン2 優しき流れ
 (P. 12～P. 13)

【準備等】 範奏音源、タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 サミングの方法を身に付け、正しい運指でサミングを生かして表現する。 ★サミングや息のコントロールを使って演奏しよう。 ○ サミングの2つの方法を理解する。 ・親指を少しずらす方法 ・爪を立てる方法 ○ サミングがなめらかにできるように練習をする。</p> <p>○ 「サムのひとりごと」を練習する。</p> <p>2 曲想を生かして演奏を工夫する。 ★曲にふさわしい演奏を工夫しよう。 ○ 「誰も知らない私の悩み」、「レヴェル・プレイン」を練習する。</p> <p>○ 発表交流を行う。</p>	<p>・教科書P. 12を使って理解させる。タブレットでまなびリンクを活用し、サミングの2つの方法を確認させることもできる。 ・親指以外の運指が大きくずれないように注意させる。 ・隙間の開き方によって音が変わるので、自分の音を確かめながら練習させる。 ・安定した音を出せているか、一人一人順番に確認していくとよい。 【評】 サミングの方法を理解し、なめらかに発音する活動を通して、「技能」を評価する。 ・タブレットでまなびリンクを活用して、模範演奏を確認させる。 ・サミングが必要な音が分かるよう、楽譜に書き込ませる。 ・腹式呼吸やタンギングにも注意させる。 【評】 楽器の種類や楽曲の特徴に合わせて表現を工夫する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ブレスやフレーズに注意させることで、曲想を意識させる。 ・旋律のまとまりを考えることで、表現の工夫をさせる。 ・ソプラノ・リコーダーとアルト・リコーダーの構造や、音色の違いに合わせた息のコントロールを考えられるとよい。 ・曲想の違いに合わせた演奏方法の工夫を聴き取らせる。 ・ソプラノ・リコーダーとアルト・リコーダーの音色の違いに合わせた曲の工夫も聴き取らせる。 【評】 身に付けた表現の幅を楽しみ、演奏活動に対しての意欲や関心を高めているか、発表交流の活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

「サムのひとりごと」では、ソプラノ・リコーダーとアルト・リコーダーでサミングや息のコントロールを身に付けて表現する。また、これらの技能を生かして「誰も知らない私の悩み」「レヴェル・プレイン」を演奏することで、曲想の変化とフレーズとの関係を捉えながら、曲にふさわしい器楽表現の工夫ができることを目指す。

【共通事項】 音色・速度・旋律